

# － 教育方針

## 〔1〕 学校教育目標

### 郷土を拓く大地の教育

菅平の発展は、長い年月にわたる先人の開拓のうえに打ち立てられており、子どもたちの教育は、先人から受け継いだ区民のたくましい開拓精神によって支えられている。

いま、社会が多様化し、国際化・情報化の時代を迎えている。本校では、菅平の自然・歴史・産業・文化を大事に受け止め、この郷土菅平の将来や広く日本の未来を一層拓くために、自己教育力を身につけ、豊かな大地に学ぶ心を育てる教育をすすめる。

#### めざす子どもの姿（中期目標）

- ① 自分で考え、判断し、行動できる子ども
- ② 自分や友達の良さを認め合える子ども
- ③ 仲間と協力して課題を解決していこうとする子ども
- ④ 自らを鍛える逞しい子ども
- ⑤ 郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子ども

上記、学校教育目標及びめざす子どもの姿を具現化するため、本校の強みである

- ① 少人数学習集団
- ② 厳しさと豊かさを併せ持った大自然に囲まれた環境
- ③ 小中一貫教育による9年間を見通した教育活動
- ④ 学校への協力を惜しまない保護者・地域をおおいに活用し、特色ある教育活動を展開する。

【学校長の願い】 「全ての教育活動を子ども理解をベースに展開して」

#### 1 学力の向上について

23年度は「自分から進んで学習を進められる児童・生徒の育成をめざす」を重点目標とし重点活動を①「自学を支える“ねらいの達成”を見届ける授業を行う」②「興味や関心を高めるための、めりはりの場面を仕組む授業を行う」として取り組んだ。その結果小学校では板書や発問の工夫をしたことで、言葉へのこだわりが高まってきた。中学校では学習に苦手意識を持った生徒が、他の生徒からの支えにより学習意欲が高まった。小中合同授業では、中学生が今までの学習や知識を生かしたアドバイスを小学生にすることができ、小学生も既習事項からのアイデアを検証するきっかけ作りが行えたなどの成果が見えた。そこで24年度は重点目標（1）を継続し「自分から進んで学習を進められる児童・生徒の育成をめざす」とし重点活動①を「興味や関心を高めるための、めりはりの場面を仕組む授業を行う」重点活動②を「小中連携の中で学習内容の系統を意識した児童・生徒の学びの質の向上を図る」とした。

#### 2 心の教育について

23年度は「互いの存在を認め合い気持ちの良い生活を送る集団づくりをめざす」を重点目標として取り組んできた。学校評価を見ると全体的に高い評価が得られた。しかし、内容を詳しく見ると「友だちのよい所を見つける」「友だちのよい所を相手に伝える」の項目では「そう思わない」や「あまりそう思わない」の回答率が他の項目より多く、さらに肯定的ではあるが「ややそう思う」の方が「そう思う」より高い割合を示している。そこで24年度は重点目標（2）「互いの良さを認め合い、前向きに取り組む集団生活をめざす」とし、重点活動を「教師自らが子どもの良さを伝え児童・生徒の意識を啓発する」とした。

#### 3 キャリア教育について

菅平では80%以上の保護者が地元産業に就き、また25～35歳の男子卒業生の53.4%は菅平に戻って生活をしているという特徴がある。子どもたちや地域の将来を考えたとき、菅平の産業（農業・観光業）に携わりながら、地域の発展のために積極的に関わろうとする人材作りは欠かせない。そこで24年度は新たにキャリア教育の重点目標を設け「菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる」とした。

### 今年度の重点目標

- （1）自分から進んで学習を進められる児童・生徒の育成をめざす。
- （2）互いの良さを認め合い、前向きに取り組む集団生活をめざす。
- （3）菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる。